

公共施設等総合管理計画に関する実績等報告書(令和7年度)

(総務財政部 財務課)

■計画の基本情報

計画期間	H 29 ～ R 58 年度
位置付け	本計画は、必要な公共施設等を適切に維持・管理するための基本方針を定めたもので、施設マネジメントの基本計画として位置付けている。また、第2次亀山市総合計画後期基本計画との関連は、基本施策「(2)財産・情報の適正な管理・活用」と深く関わり、②公有財産の効率的・効果的な活用の部分を補完するものである。
目的・概要	公共施設等については、施設の老朽化や更新、維持・管理への財政負担、施設利用需要の変化など、それらへの対策が課題である。本計画は、課題分析を的確に行い、将来費用を試算した上で、利便性や安心・安全に利用できる環境など利用者の視点に立ち、更新や統廃合、長寿命化など総合的な管理を行うものである。
計画の骨格	将来にわたって持続的な行政サービスを維持するため、60年後のあるべき姿を描きながら、公共施設やインフラの計画的な維持管理と施設総量の削減を行うことで、1年あたりの投資的経費を直近5か年の平均である22億7千万円(将来費用の25%削減)に近づけることを目標に取り組む。 この目標を達成するため、「維持管理経費の削減と長寿命化の推進」「将来費用の確保」「施設総量の削減」の3つの基本方針と7つの実施方針、17の施設類型ごとの基本方針を基に実行する。

■成果指標

成果指標名			現状値	実績値 (R6)	目標値
		単位			
1	将来費用の削減(60年間で25%)	億円	1823.1		1362.0
2					
3					
4					
5					

■計画の実績等

取組実績	令和8年3月に亀山市就学前教育・保育施設再編方針を改訂し、新たな施設整備や統合など今後における再編計画について方向性を示した。 施設の維持管理・更新等に係る経費、管理に関する考え方等について検討し、公共施設等総合管理計画の改訂作業を実施する基礎資料として、各施設の現状を把握するための調査を行った。
成果	公共施設等総合管理計画の方針を踏まえ、各分野における施設再編や長寿命化等の計画を作成し、一部施設の統合等の検討を進め、各分野における施設再編や長寿命化等の計画に基づく方向性を示すことができた。
総合計画 推進への 寄与度	公共施設の効率的・効果的な活用や維持・管理につながることから、持続可能な財政運営や総合計画の推進に寄与するものである。



反省点・課題	施設の現況(老朽化)、維持管理・更新コスト、利用ニーズ等を把握した上で、各施設の情報を一元管理し、全庁的に共有化を図った上で、施設の統廃合や複合化、長寿命化対策を行う必要がある。しかしながら社会経済情勢の変化や建設コスト等の上昇により、更新費等の長期見通しが立てにくい状況にある。
--------	---



今後の方向性	公共施設マネジメントの推進に当たり、そのベースとなる「亀山市公共施設等総合管理計画(H29.3)」は、策定から年月が経過しており、計画を見直す時期が来ている。大規模施設整備の方向性を検討中である現状と将来見通しの的確な把握を行った上で、計画を見直し、今後の整備方針を策定する。
--------	---